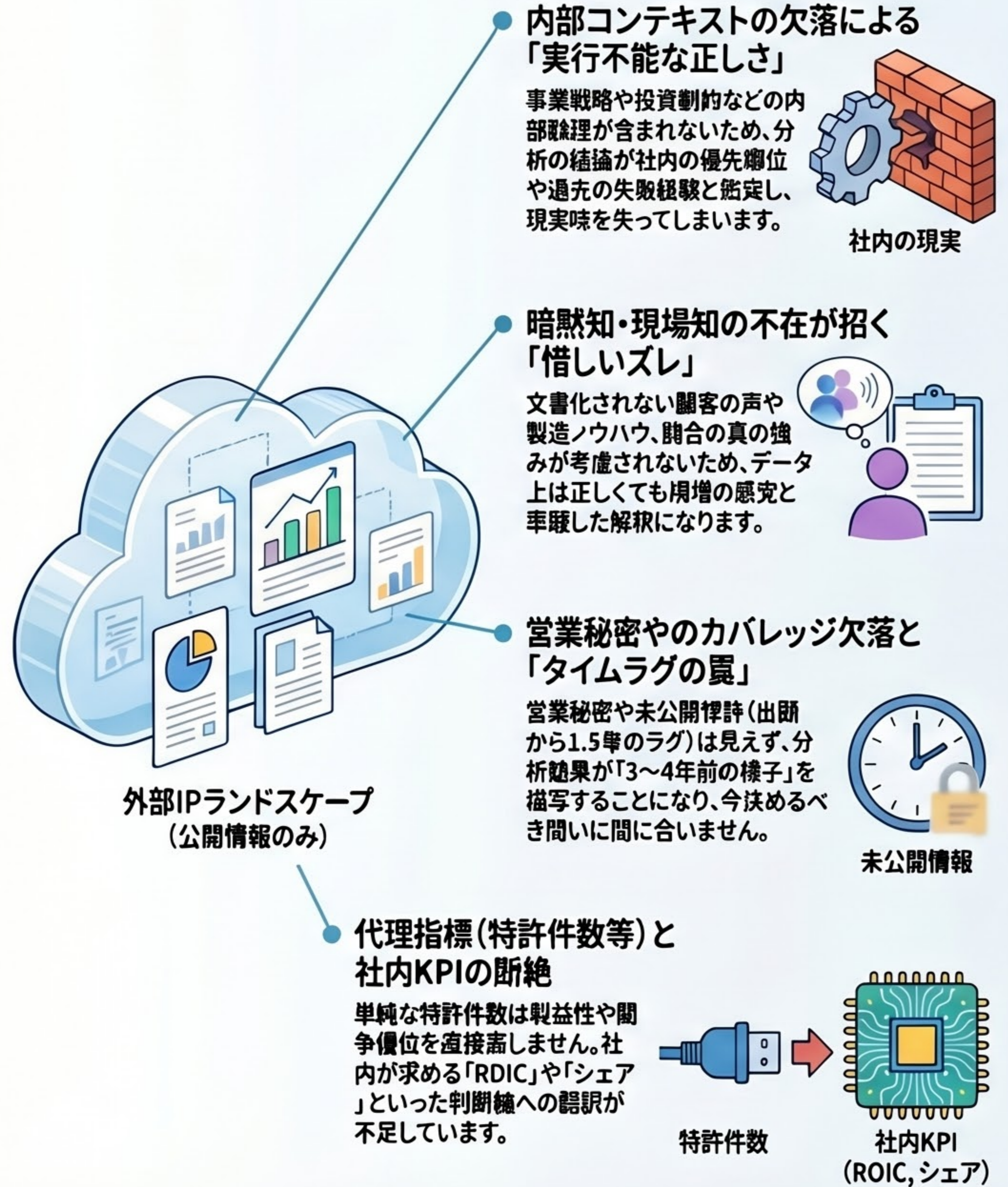


「腑に落ちない」IPランドスケープからの脱却：内部情報の統合による意思決定の高度化

なぜ外部情報だけの分析は「腑に落ちない」のか？(8つの要因)



ステークホルダー別：影響度とミティゲーション

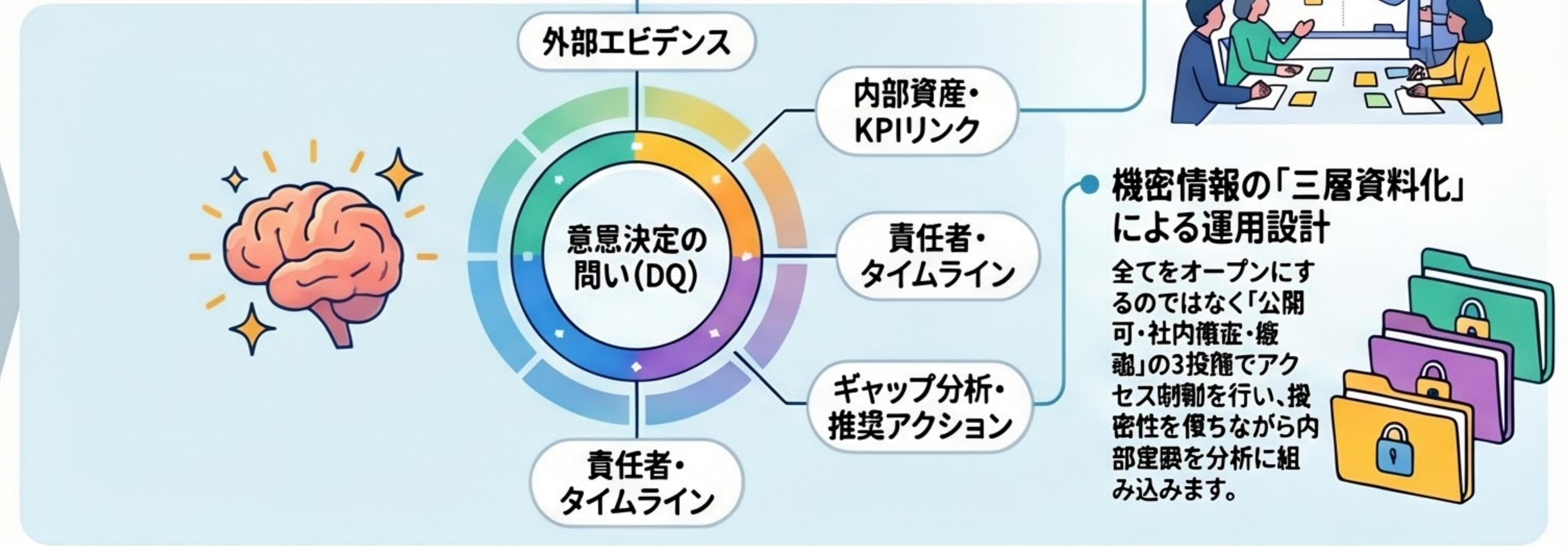
ステークホルダー別：影響度とミティゲーション



プロセスとガバナンス

ワークショップによる「暗黙知の論点化」

分析の前に隠埋とアラインングやWSを兼ね、経験のありたい姿 (To-Be) と現状 (As Is) のギャップを両極にすることで、分析の解釈精度を高めます。



導入ロードマップ:3つのフェーズ



短期(1-3ヶ月)：DQの固定と最小統合
1つの重点テーマに絞り、インタビューを通じて「何をいつ決めるか」を定義し、最小限の内部情報を反映した記作を作成します。

中期(3-12ヶ月)：運用と可視化の定着
統合データマートを構築し、四半間ごとのワークショップやダッシュボード運用を通じて、分析を組織のルーティンに組み込みます。

長期(1-3年)：ガバナンスの高度化
営業秘密やデータ管理を含む会社ポートフォリオを統合し、投資家対応や高度な資本配分に資するストーリー構築を実現します。